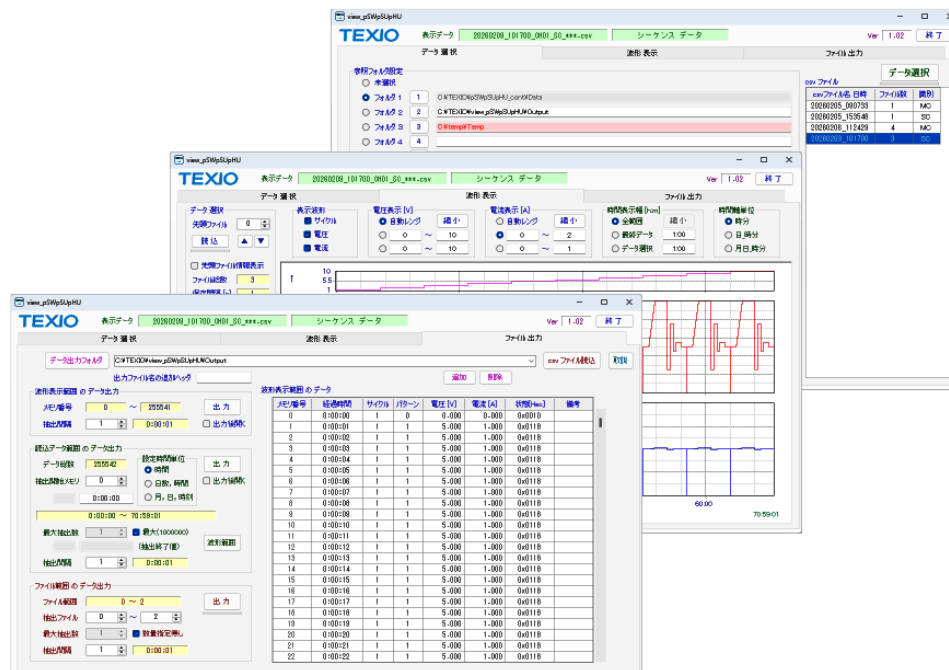


取扱説明書

PSW・PSU・PHU 簡易制御のデータ確認 アプリ

< pSWpSUpHU_cont アプリ対応 >

Version 1.02



＜ソフトウェア使用許諾契約＞

1. 権利の許諾

当社はお客様に対して、本使用許諾契約に同意いただいてダウンロード可能となるソフトウェア及びその関連資料（以下「本ソフトウェア」といいます）に関し、以下の権利を許諾します。

- (a) お客様は、本ソフトウェアに対応する当社製品を利用する目的で本ソフトウェアを使用することができます。
- (b) お客様は、本ソフトウェアを複製し、1台以上のコンピュータ上で使用することができます。

2. 追加許諾条項

本ソフトウェアを定められた目的に従って使用した結果、作成された各種のファイルは、お客様の著作物となります。

3. 著作権

本ソフトウェア及びその複製物の著作権は当社又は当社が認めた者が有するものであり、日本国著作権法及び国際条約によって保護されています。本使用許諾契約に基づき、お客様が本ソフトウェアを複製する場合は、ダウンロードされた本ソフトウェアに付されていたものと同一の著作権表示がなされることを要します。

4. 禁止事項

本ソフトウェアがソースコードで提供される場合、お客様は、ソースコードを改変したものを当社製として第三者に配布することはできません。

5. 無保証

当社は、本ソフトウェアがお客様特定の目的のために適切であること、もしくは有用であること、又は本ソフトウェアに瑕疵がないこと、その他本ソフトウェアに関していかなる保証もいたしません。

6. 免責

当社は、いかなる場合においても、本ソフトウェアの使用又は使用不能から生ずるいかなる損害（事業利益の損害、事業の中断、事業情報の損失、又はその他金銭的損害）に関して、一切責任を負いません。

7. 契約の解除

お客様が本使用許諾契約に違反した場合、当社は本使用許諾契約を解除することができます。その場合、お客様は本ソフトウェアを一切使用しないものとします。

＜サポート＞

本ソフトウェアの不具合等のお問い合わせは、当社サービスまでお願いいたします。
不具合の内容に応じて当社が必要と判断した内容に対して対応致します。

＜保証範囲＞

本ソフトウェアのダウンロード・インストールはお客様の責任においておこなっていただきます。また本ソフトウェアは、予告せず改良、変更することがあります。

＜著作権者＞

各ソフトウェアの著作権は、当社に帰属します。

＜各社商標＞

TEXIO は当社の産業用電子機器における製品ブランドです。また、本説明書に記載されている会社名および商品名は、それぞれの国と地域における各社および各団体の商標または登録商標です。

目次

＜ソフトウェア使用許諾契約＞	2
第 1 章 概要	4
1-1 概要	4
1-2 仕様（動作環境）	4
第 2 章 インストールとアンインストールの手順	5
2-1 インストーラの起動	5
2-2 インストールで登録されるスタートメニューとデスクトップ	5
2-3 アンインストール	5
第 3 章 操作画面の機能説明	6
3-1 画面上部の説明	6
3-2 データ 選択 画面の説明	7
3-3 波形 表示 画面の説明	9
3-4 ファイル 出力 画面の説明	11
第 4 章 操作手順	13
4-1 データ 選択：csv データファイルの選択操作	13
4-2 データ 選択：CH フォルダ有効の機能説明	14
4-3 波形 表示：csv データファイルの欠落判定方法	14
4-4 波形 表示：マウス操作による拡大表示	15
4-5 波形 表示：マウス操作による表示位置の移動	16
4-6 波形表示範囲を時間で設定する方法	17
4-7 ファイル出力：波形表示データの csv ファイル出力	18
4-8 ファイル出力：ファイル範囲の csv ファイル出力	19
4-9 ファイル出力で作成した csv ファイルの読み込み	19
4-10 任意間隔の csv データ表示	20
第 5 章 ファイル出力の csv データとフォルダ構成	21
5-1 ファイル出力の csv データファイルの書式	21
5-2 ファイル出力の csv データのファイル名	21
5-3 アプリケーションのフォルダ構成	21
第 6 章 付 録	22
6-1 改定履歴	22

第1章 概要

1-1 概要

PSW・PSU・PHU 簡易制御(pSWpSUpHU_cont) アプリケーションの csv データファイルの確認と抽出条件で csv ファイルを作成できるアプリケーションです。

本アプリケーションは無償公開のため、サポートは対象外となっておりますのでご了承ください。

1-2 仕様 (動作環境)

アプリケーションファイル	view_pSWpSUpHU.exe
PC 環境	
OS	Windows 10/11 (.NET Framework 4.8 が動作する環境)
CPU	64bit
操作画面の機能	
データ 選択	csv データファイルの選択
波形 表示	読み込みデータの波形表示
ファイル 出力	抽出データの csv ファイル出力、読み込みデータの数値表示
処理対象ファイル	pSWpSUpHU_cont アプリの csv データファイル (UTF-8 BOM 付)
波形表示の機能	
最大読み込み数	1,000,000 ポイント
表示波形の種類	・サイクル、電圧、電流 を個別に表示設定 ・自動レンジと範囲設定 (サイクルを除く)
時間軸の表示	・時分、日 時分、月日 時分 の表示単位 ・全範囲、最終データ、指定範囲 の表示機能
波形の拡大と移動	操作対象をデータ軸と時間軸で設定しマウス操作
ファイル出力の機能	
出力データ書式	処理する csv ファイル と 同じ書式 (UTF-8 BOM 付)
抽出条件	データ範囲・抽出数・抽出間隔
データ数	1 ファイル 最大 1,000,000 ポイント

[登録商標について]

Windows、Windows 10/11 .NET Framework、Excel は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

第2章 インストールとアンインストールの手順

以下の説明は Windows 11 を例になりますので、Windows のバージョンにより操作方法が異なります。

2-1 インストーラの起動

view_pSWpSUpHU ファルダ内の setup.exe を開きます。右図の様にインストーラの画面が表示されます。

画面の指示に従ってインストールを行います。

(変更がなければ、【次へ】を選択する事でデフォルトのフォルダにインストールします。)



注意)

本アプリは、DotNetFX4.8 の Windows ライブラリを使用しています。 ご使用中の PC にライブラリが無い場合には web よりダウンロードしますので、web に接続されている環境で指示に従ってインストールを行って下さい。

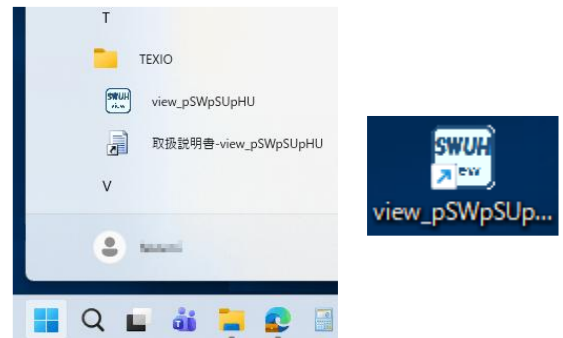
補足)

ライブラリの整合が取れていない事でインストールを失敗する場合には Setup.msi を選択してください。

2-2 インストールで登録されるスタートメニューとデスクトップ°

インストールが終了すると『スタートメニュー』の『すべて』を選択して T の『TEXIO』内にアプリケーションと取扱説明書のショートカットが作成されます。

また、デスクトップにも『view_pSWpSUpHU』のショートカットアイコンが登録されます。



2-3 アンインストール

スタートメニューアイコン上でマウスの右ボタンクリックしメニュー一覧から『インストールされているアプリ』を選択します。開いたダイアログボックスでキーワードに“view_pSW”を入力し検索すると『view_pSWpSUpHU』が表示されます。

【…】ボタンをクリックしてアンインストールを選択するとプログラムの削除ができます。



第3章 操作画面の機能説明

本章では各操作画面の機能説明になります。
一連の操作手順に関しては、次章の操作手順を参考にしてください。

3-1 画面上部の説明

操作機能選択タブの上にある機能は、選択しているファイルの情報を表示します。

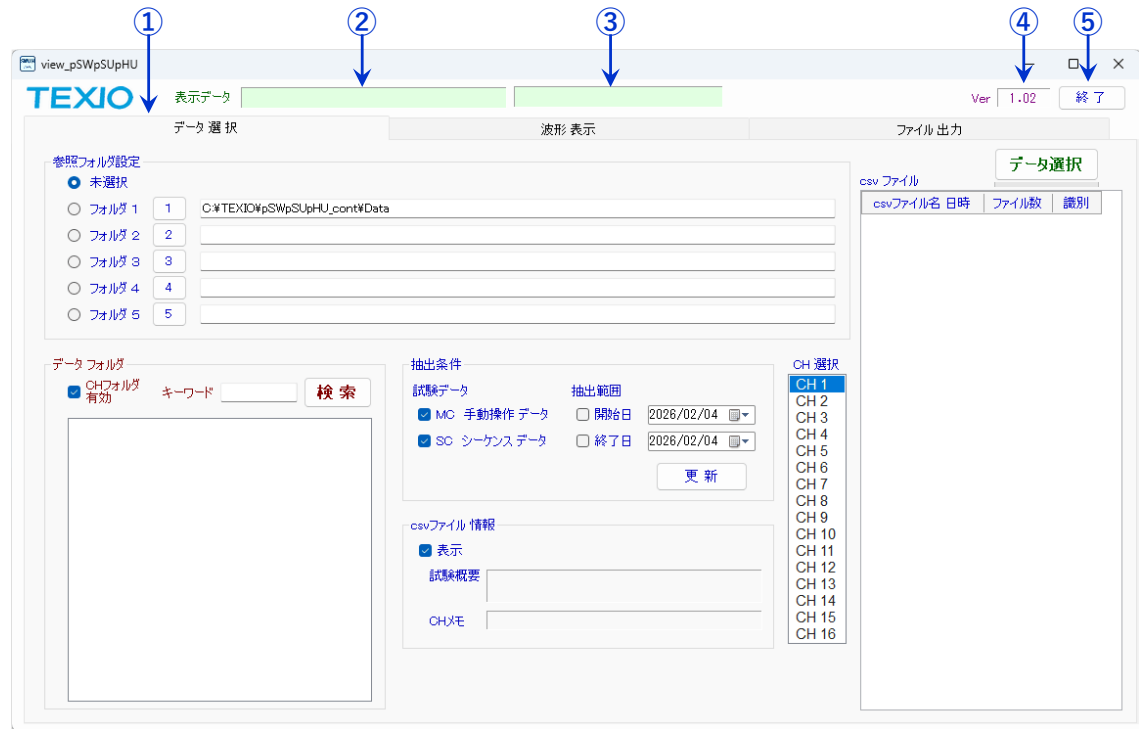


図 3-1

①		操作機能選択タブです。
②	表示データ	選択データのファイル名を表示します。
③	表示データ	選択データの種類を表示します。
④	Ver	アプリケーションのバージョンです。
⑤	【終了】	アプリケーションを終了します。

3-2 データ 選択 画面の説明

データ選択画面は、pSWpSUpHU_cont アプリケーションで取得した csv データファイルを選択します。

csv ファイルを保存したフォルダの選択を容易にする為に 5 カ所まで参照フォルダを登録でき、CH フォルダの選択を省略する機能もあります。

csv ファイル選択のリストには、試験の種類・日付の範囲・CH と 3 種類の抽出条件の結果で表示できます。

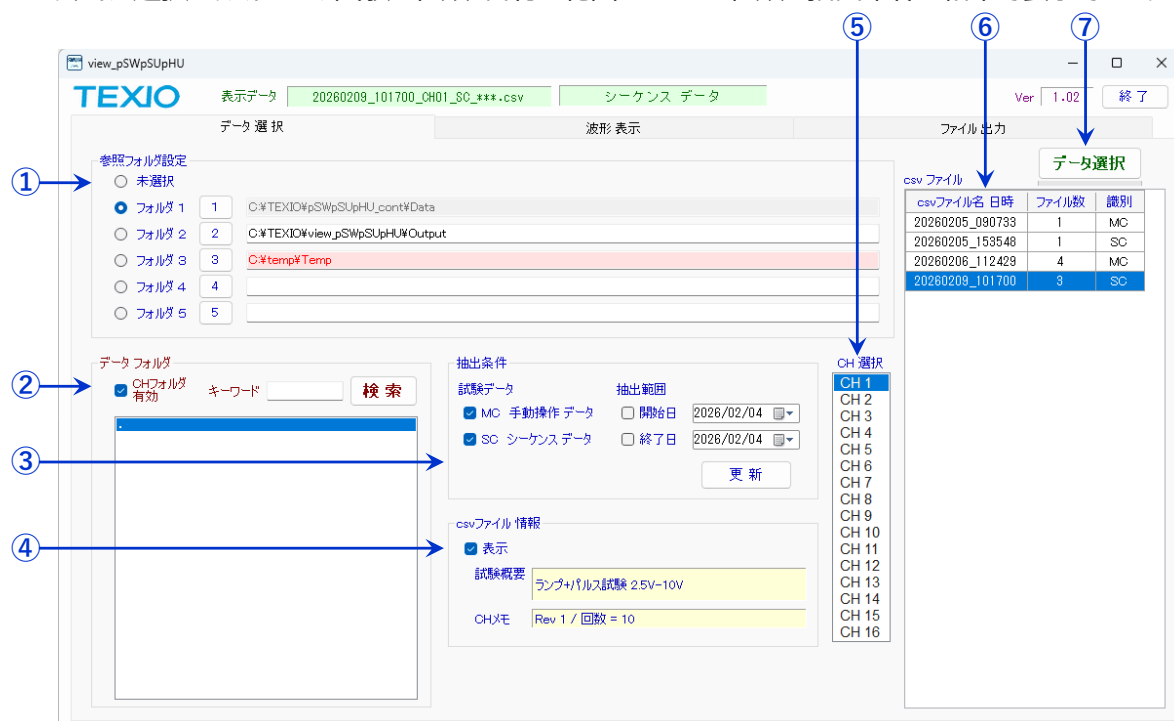


図 3-2

① 参照フォルダ設定	
☐ 未選択	参照フォルダを選択しない。
☐ フォルダ 1～5	参照するフォルダを選択します。
1	「フォルダ選択」と「フォルダを開く」為の選択用のダイアログ Box を開きます。 参照フォルダに選択されている場合、フォルダを開きます。
C:\TEXIO\pSWpSUpHU_cor C:\TEXIO\view_pSWpSUpHU C:\temp\Temp	参照フォルダを設定するテキスト Box です。 キー入力の他にエクスプローラからのドラッグ＆ドロップでも入力できます。 また、存在しないフォルダが設定されている場合、背景色が薄赤になります。
② データ フォルダ	
☐ CH フォルダ 有効	✓状態は、CH 選択に対応した pSWpSUpHU_cont アプリで作成される CH-01～CH-16 のフォルダ名の下を参照します。
キーワード	設定した文字列が含まれているフォルダ名のみ抽出されます。(10 文字)
【検 索】	キーワードに従って、データフォルダのリストを更新します。
.	キーワードに従って検索された参照フォルダのデータフォルダリストです。 リストの先頭には「.」が設定され参照フォルダ内の選択になります。 また、CH フォルダ有効が✓されている場合、CH-01～CH-16 のフォルダ名は表示されません。

③ 抽出条件	
試験データ ☒ MC 手動操作 データ ☒ SC シーケンス データ	csv リスト表示対象の試験データを✓状態のにします。
抽出範囲 ☐ 開始日 2026/02/04 ☐ 終了日 2026/02/04	csv リストに表示するデータの日付の範囲を設定できます。 ✓状態で右に設定した日付が有効、✓無しが日付指定無しになります。 ※✓状態の項目は、アプリケーション再起動時に同じ日付になります。
【更新】	抽出条件で csv ファイルのリストを更新します。
④ csv ファイル 情報	
☐ 表示	✓状態の時に選択している csv ファイル内の情報を表示します。
試験概要	「手動操作」またはシーケンスプログラムの試験概要を表示します。
CH メモ	CH メモの内容を表示します。
⑤ CH 選択	csv ファイルリストに表示する CH を選択します。
⑥ csv ファイル	
csv ファイル名 日時	"**_000.csv"ファイルの日時を部分を表示します。
ファイル数	"**_000.csv"ファイル以降のファイル数を表示します。
識別	試験データを MC または SC の識別文字を表示します。
	リストのダブルクリックでデータを読み込みます。
⑦ 【データ選択】	csv ファイルリストで選択しているファイルのデータを読み込みます。
	csv ファイル読み込み処理の経過表示バーです。

3-3 波形 表示 画面の説明

波形表示画面は、最大 1,000,000 ポイントまでの csv データを波形で確認できます。

波形の表示範囲は、マウス操作やキー入力で設定できます。

※時間軸はデータ数でプロットする為、試験終了時の最後のデータの時間表示にずれが生じる場合があります。

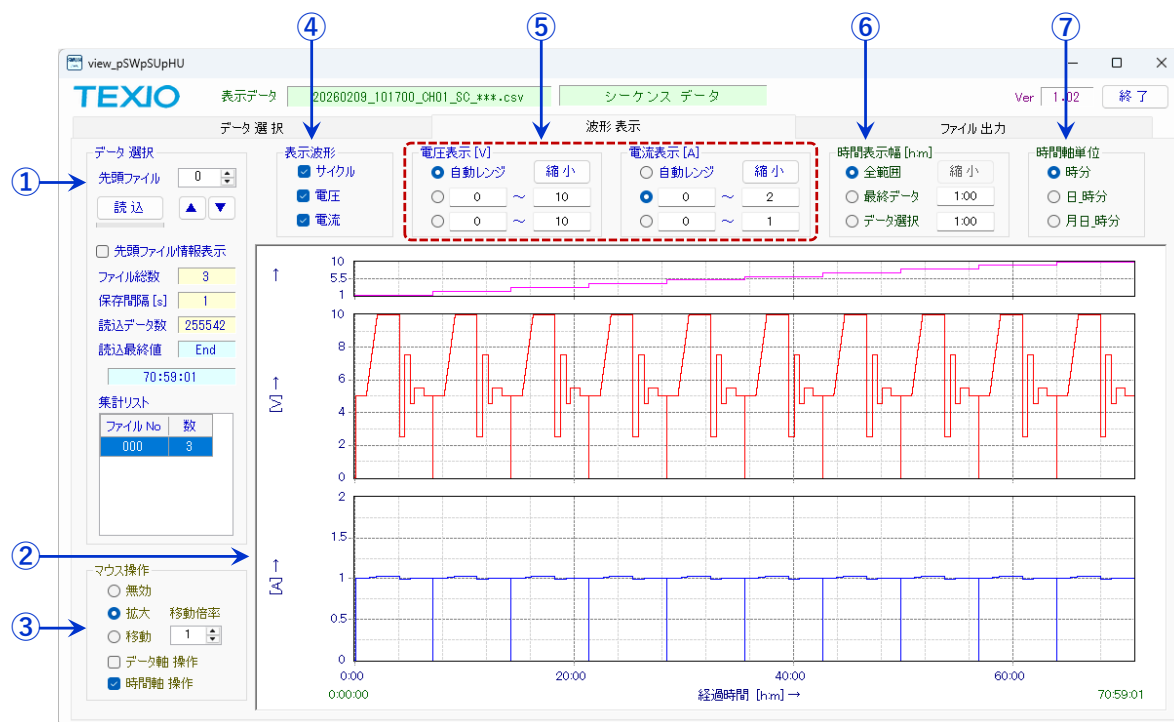


図 3-3A

① データ 選択			
先頭ファイル	0	読み込む先頭ファイルの番号設定です。	
【読 込】		先頭ファイルの設定値から最大 1,000,000 ポイントのデータを読み込みます。	
		データ選択時の読み込み状況の表示バーです。	
【▲】		先頭ファイルの値を +10 します。	
【▼】		先頭ファイルの値を -10 します。	
☐ 先頭ファイル情報表示		先頭ファイルの csv ファイル内のヘッダ情報を表示します。	
ファイル総数		選択データの連続ファイルの総数を表示します。 csv ファイルのデータが欠落している場合、	
保存間隔 [s]		表示波形の保存間隔を表示します。	
読込データ数		読み込んだデータ数を表示します。	
読込最終値	End	最後に読み込んだデータの備考値と経過時間を表示します。	
	70:59:01	※備考値は試験最後データのみ表示されます。 経過時間は、時間軸単位の選択内容の形式で表示されます。	
集計リスト		先頭ファイル番号と連続ファイル数を表示します。 ファイルが欠落している場合、複数行で表示されます。	
②		表示波形で✓状態の波形が表示されます。 縦軸の単位で波形の種類を識別します。 サイクル波形の高さは固定値でマウス操作対象外です。 ※1つのcsvファイルのドラッグ&ドロップの読込可能	波形
			単位
			サイクル →
			電圧 [V]→
			電流 [A]→

③ マウス操作	
○無効	波形操作の無効設定です。
○拡大	波形の拡大操作設定です。
○移動	波形の移動操作設定です。
移動倍率	波形移動時の移動量を 1～10 の倍率で設定します。
☐ データ軸 操作	✓状態では波形の縦軸の操作を有効にします。
☐ 時間軸 操作	✓状態では波形の横軸の操作を有効にします。
④ 表示波形	✓状態の波形を表示します。
⑤ 電圧表示 [V]、電流表示 [A]	
○	縦軸の上下限値の表示範囲の条件を選択するラジオボタンです。 上段は自動レンジ、中段は右側の設定値、下段はマウス操作等の設定値
0 ~ 10	縦軸の上下限値の設定です。小数点以下の最後が 0 の文字は削除します。
【縮小】	縦軸の表示範囲の 2 倍の値を下段に設定して波形を更新します。
⑥ 時間表示幅 [h:m]	
○全範囲	読み込んでいる全データ数で波形を表示します。
○最終データ	最後のデータを右側に設定した『時：分』のデータ数で表示します。 ※表示しているデータの保存間隔[s]が 0 の時は無効になります。
○データ選択	表示位置から右側に設定した『時：分』のデータ数で表示します。
【縮小】	表示データ数が多くなる様にデータ選択の設定値を変更します。
⑦ 時間軸単位	
○時分	時間時間軸の単位を『時間：分』で表示します。
○日_時分	時間時間軸の単位を『日数_時：分』で表示します。
○月日_時分	時間時間軸の単位を『月/日_時：分』で表示します。

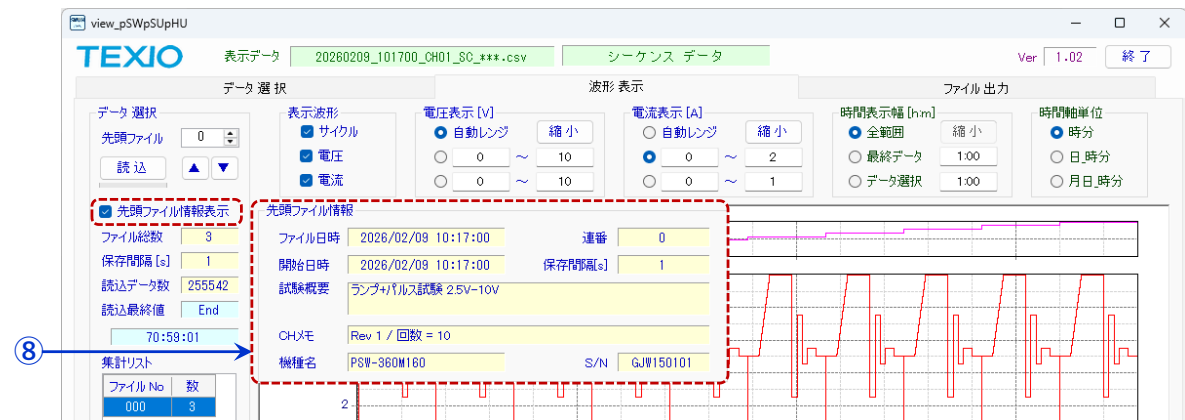


図 3-3B

⑧ 先頭ファイル情報	先頭ファイルのヘッダ内容の表示です。
------------	--------------------

3-4 ファイル 出力 画面の説明

指定範囲のデータを設定した抽出間隔で最大 1,000,000 ポイントの csv ファイルを作成します。
 その他に、表示波形範囲の数値確認、表示波形の範囲指定、出力した csv ファイルを読み込む事ができます。



図 3-5

①	【データ出力フォルダ】	「フォルダ選択」と「フォルダを開く」為の選択用のダイアログ Box を開きます。
	<code>C:\TEXIO\view_pSWpSupHU\Output</code>	csv データを出力するフォルダを設定するテキスト Box です。 キー入力の他にエクスプローラからのドラッグ＆ドロップでも入力できます。 また、存在しないフォルダが設定されている場合、背景色が薄赤になります。
	【追加】	コンボ Box のリストの先頭にデータ出力フォルダを追加します。 また、同じ内容を追加するとリストの先頭に移動します。 リストの登録数が 10 種類を超えると最後の内容が削除されます。
	【削除】	データ出力フォルダの設定と一致する内容をリストから削除します。
②	出力ファイル名の追加ヘッダ	出力する csv ファイル名の先頭に 10 文字までの文字列を設定できます。
③	波形表示範囲 の データ出力	
	メモリ番号	波形表示画面で表示しているメモリ番号の範囲を表示します。
	抽出間隔	抽出する間隔を設定します。右に抽出間隔を「時:分:秒」で表示します。
	【出力】	メモリ番号の範囲のデータを抽出間隔で csv ファイルに出力します。
④	□出力後開く	✓状態は、csv ファイル出力後に Windows の既定のアプリで開きます。
	読込データ範囲 の データ出力	
	データ総数	波形表示で読み込まれているデータ数を表示します。
	設定時間単位	抽出開始位置や最大抽出数の日時入力の形式を選択します。
	抽出開始メモリ	出力開始位置のメモリ番号を設定します。 また、開始位置を時間や日時でも設定できます。
	0:00:00 ~ 70:59:01	設定時間単位に対応した入力範囲を表示します。

最大抽出数	出力する最大データ数を設定します。	
☐ 最大(1000000)	✓状態で出力する最大データ数を 1,000,000 ポイントになります。	
(抽出終了値)	抽出の終了データを時間や日時で設定します。	
抽出間隔	抽出する間隔を設定します。右に抽出間隔を「時:分:秒」で表示します。	
【出 力】	メモリ番号の範囲のデータを抽出間隔で csv ファイルに出力します。	
☐ 出力後開く	✓状態は、csv ファイル出力後に Windows の既定のアプリで開きます。	
【波形範囲】	抽出開始位置と最大抽出数で波形表示の範囲を設定できます。 但し、抽出数は波形表示データ選択の入力単位は「時:分」になります。	
⑤ ファイル範囲 の データ出力		
ファイル範囲	波形表示の選択しているファイル番号の範囲表示です。	
抽出ファイル	抽出するファイルの範囲を設定します。	
最大抽出数	出力する最大データ数を設定します。	
☐ 数量指定無し	✓状態で抽出数の制限は無しになります。 但し、1 ファイルの最大データ数は 1,000,000 ポイントになります。	
抽出間隔	抽出する間隔を設定します。右に抽出間隔を「時:分:秒」で表示します。	
【出 力】	ファイルの範囲のデータを抽出間隔で csv ファイルに出力します。	
	csv ファイル出力処理の経過表示バーです。	
⑥ 波形表示範囲 の データ		
メモリ番号	波形表示で保存されているメモリ番号です。	
経過時間	データの経過時間を「時:分:秒」で表示します。	
サイクル	サイクル数の表示です。	シーケンスのデータ再生時 に表示されます。
パターン	パターン番号の表示です。	
電圧 [V]	電圧測定値の表示です。	
電流 [A]	電流測定値の表示です。	
状態[Hex]	電源の動作ステータスを 0x の後に 4 桁以上の 16 進数で表示します。	
備考	データの最後に保存される終了条件を表示します。	
⑦	【csv ファイル読込】	ファイル選択ダイアログ Box にて pSWpSUpHU_cont の csv 書式のファイルを 単独ファイルとして読み込みます。 ※ファイル範囲 の データ出力の機能は無効になります。
⑧	【取説】	アプリケーションの保存フォルダ内にある本書を開きます。

第4章 操作手順

本章では各機能进行操作する時の留意点を含めた手順の説明になります。
各機能の詳細は前章の操作画面の機能説明を確認してください。

4-1 データ 選択 : csv データファイルの選択操作

TCP_Test アプリのデータフォルダ内の csv ファイルの選択例の説明になります。

初めてアプリケーションを起動した時は、参照フォルダ設定が未選択になっています。

※pSWpSUpHU_cont アプリケーションの後に本アプリケーションをデフォルト設定でインストールして起動すると右図の様にフォルダ 1 には pSWpSUpHU_cont¥Data のフォルダが設定されます。

フォルダを【1】ボタン(フォルダ選択ダイアログ Box)・キー入力・フォルダのドラッグ & ドロップで設定した後にラジオボタンで参照するフォルダを選択します。

データフォルダのリストには、キーワードが含まれるフォルダ名が表示されます。

CH フォルダ有効が✓状態は、pSWpSUpHU_cont のデータフォルダ参照となり CH フォルダの選択を省略できます。

リストの先頭行に参照フォルダ内を示す「.」が表示されているので選択すると csv ファイルのリストが更新されます。

抽出条件（試験の種類・データファイル名の日付の範囲）と CH 選択の結果を csv ファイルのリストに表示します。

抽出条件を変更した場合、【更新】ボタンをクリックします。
抽出条件以外は、選択時に更新されます。

csv ファイル情報の表示が✓状態の場合、csv ファイルのリストを選択するとデータファイル内の試験概要と CH メモの内容を表示されます。

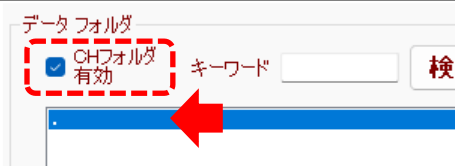
【データ選択】ボタンをクリックするとファイルを読み込み波形表示の画面に切り替わります。

csvファイル名 日時	ファイル数	識別
20260205_090733	1	MC
20260205_153548	1	SC
20260206_112429	4	MC
20260209_101700	3	SC

4-2 データ 選択 : CH フォルダ有効の機能説明

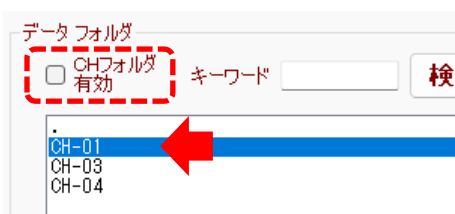
CH フォルダ有効を✓状態は、選択フォルダ内にある CH-01 から CH-16 フォルダが対象になります。
pSWpSUpHU_cont アプリのデータフォルダを参照する時に使用すると選択が簡単になります。
データフォルダのリストの先頭行の「.」は、選択した参照フォルダ内になります。

CH フォルダ有効を✓状態は、CH-01～CH-16 のフォルダ内のデータ参照が前提になります。
pSWpSUpHU_cont アプリのデータ参照用です。



CH フォルダ有効の✓が無い状態は、選択したフォルダ内が参照対象になります。

pSWpSUpHU_cont アプリは CH 毎に対象のフォルダにデータが保存されるので、データフォルダの CH と CH 選択が一致させる必要があります。



4-3 波形 表示 : csv データファイルの欠落判定方法

pSWpSUpHU_cont アプリのデータファイルは 000 番から順番に作成されています。
集計リストでファイルが欠落している事が識別でき、読込最終値で終了条件が分かります。

集計リストのファイル数が 13 なので、ファイル No は 000 から 012 と連続したデータが保存されています。

集計リスト	
ファイル No	数
000	13

ファイルが欠落していると集計リストに複数行表示されます。

1 行目の数が 5 なのでファイルは 000 から 004 です。
2 行目の数が 6 なのでファイルは 007 から 012 です。
欠落ファイルは、005 と 006 になります。

表示波形は集計リストの選択行のデータ範囲になります。

集計リスト	
ファイル No	数
000	5
007	6

読込最終値に文字列が表示されている場合、最終データを読み込んだ状態を示しています。

また、空欄でも読込データ数が 1,000,000 の場合、最大読み込み数に達している状態を示しています。先頭ファイルを変更して再読み込みします。

1,000,000 に達していない場合、ファイル欠落になります。

※読込最終値の時間表示は、時間軸単位で設定している形式で表示されます。

ファイル総数	13
保存間隔 [s]	1
読込データ数	277942
読込最終値	End
	354:59:01
集計リスト	
ファイル No	数
000	13

下表が読込最終値の文字列表示の代表例になります。

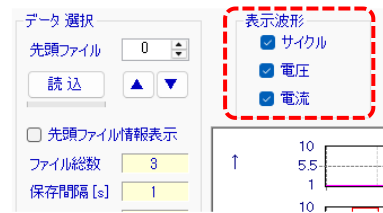
表示	内 容	表示	内 容	表示	内 容
End	正常終了	Out	ステップ 測定値判定中止	OVP	過電圧保護
Stop	パネル操作の停止	Comm	通信エラー	OCP	過電流保護
Exit	ステップ 試験中止	SD	電源 AC 入力 OFF	OTP	過熱保護

4-4 波形 表示 : マウス操作による拡大表示

マウス操作による表示波形の拡大操作とキー入力の設定に関して説明になります。

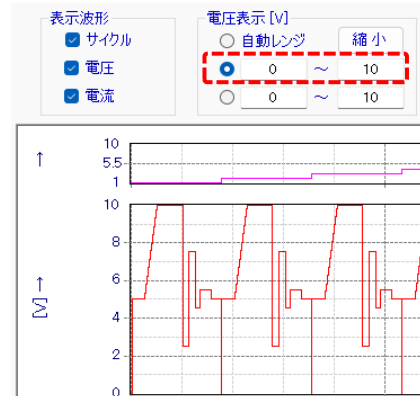
表示する波形を選択します。

※手動操作データの場合、サイクルは無効になります。



データ読み込み時の波形は、自動レンジの全範囲になっています。

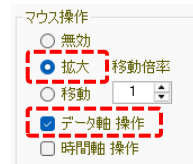
中段のラジオボタンが入力専用の手動レンジになります。
電圧表示の範囲をキー入力してラジオボタンを選択します。
下段のラジオボタンがマウス操作兼用のキー入力の手動レンジ設定になります。



次にマウス操作で拡大操作を行います。

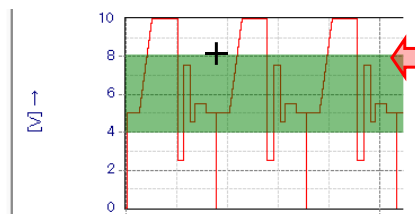
画面左下にあるマウス操作のラジオボタンを拡大にして
データ軸 操作を✓状態にします。

(時間軸も拡大する場合、✓状態にします。)



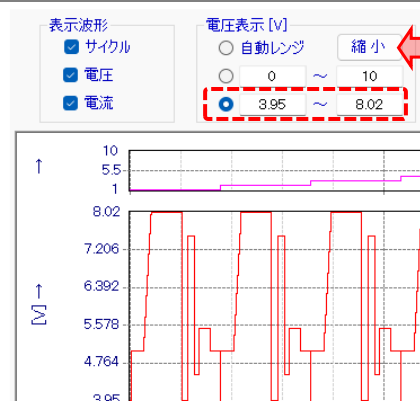
電圧波形内の拡大を開始する位置でマウスの左ボタンを押すとカーソルが+になり、押しながら終了位置に移動して左ボタンを離します。

左ボタンを押して移動している間、選択範囲が緑色で表示されます。この状態では表示波形は更新されません。



マウスの左ボタンを離して拡大操作を終了するとラジオボタンは下段の手動レンジに移動し、設定値の範囲で波形を描画します。

【縮小】ボタンをクリックすると、ラジオボタンは下段の手動レンジに移動し、表示しているデータの範囲を広げた値を設定値にして波形が縮小されて再描画されます。



4-5 波形 表示 : マウス操作による表示位置の移動

マウス操作による波形移動はデータ軸も時間軸も同じですが、時間軸は表示幅のみキー入力で設定できます。

時間軸の表示開始位置はマウス操作で行います。

以下は、マウス操作による時間軸の波形移動操作の説明になります。

表示する波形を選択します。

※手動操作データの場合、サイクルは無効になります。

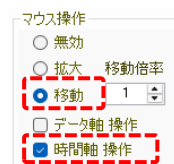


次にマウス操作で移動操作を行います。

画面左下にあるマウス操作のラジオボタンを移動にして

時間軸 操作を✓状態にします。

(データ軸も移動する場合、✓状態にします。)



時間軸の移動操作は下段のデータ選択を使用します。

時間軸の表示幅を設定します。

開始位置は表示波形の左端になります。



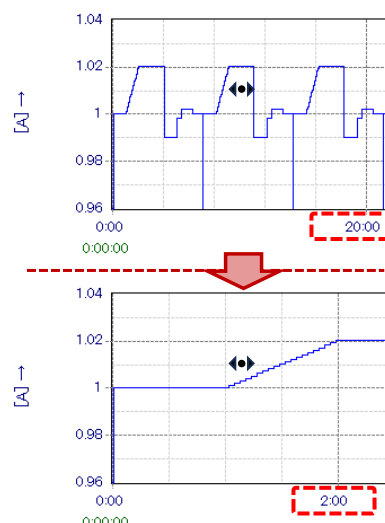
波形内でマウスの左ボタンを押すと移動方向を示すカーソルに切り替わります。

押しながらマウスを移動した時にラジオボタンがデータ選択に切り替わり設定幅で波形を描画します。

そのまま、表示する位置までカーソルを移動させます。

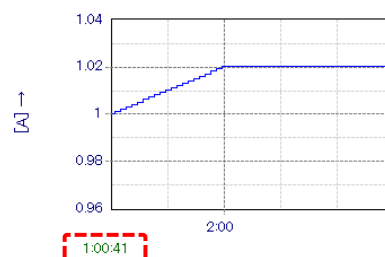
また、移動操作はマウスがアプリケーションの外にでも処理が継続されます。

※時間軸の移動は、(最終時間 - 表示幅)の時間より開始位置を近づける事はできません。

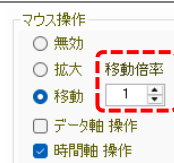


マウスの左ボタンを離すと移動操作は終了になります。

※右下の緑色の時間が左端の時間表示になります。



波形拡大時にマウス操作の移動量が少なく感じる場合、移動倍率を変更して下さい。

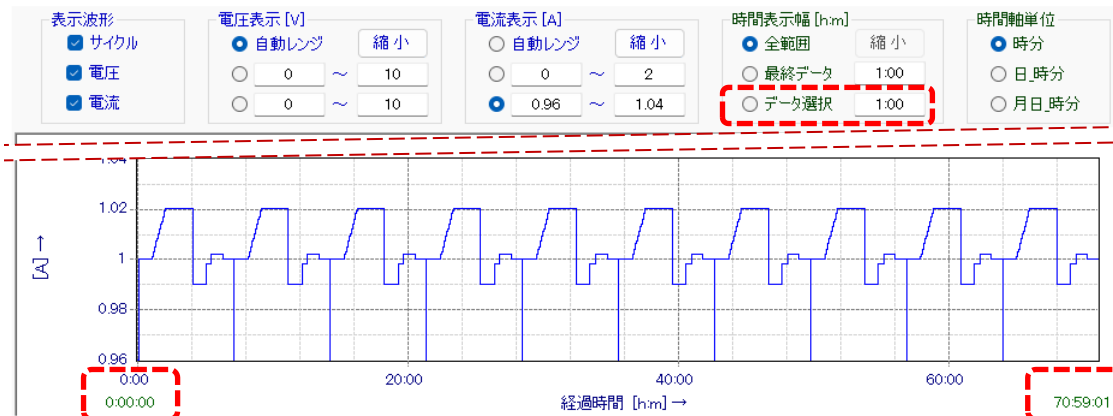


4-6 波形表示範囲を時間で設定する方法

波形表示画面では、時間軸の表示開始位置はマウス操作ですが、ファイル出力画面にある機能を使用する事でキー入力による開始時間の位置を設定できます。

下図は、時間表示幅は全範囲の状態の電流波形の表示例です。

表示波形の時間は、0:00:00~70:59:01、データ選択のテキスト Box は 1:00 の 1 時間設定です。



ファイル出力画面に切り替えます。

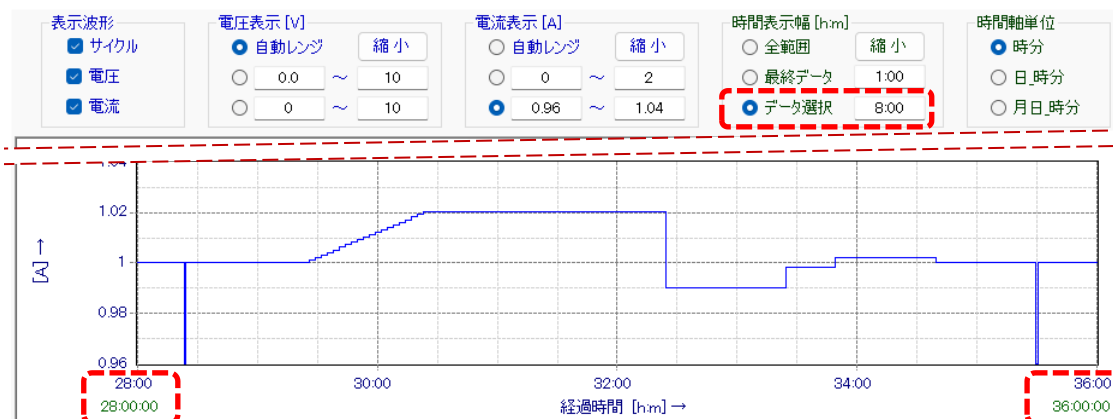
波形表示はメモリ番号 0 ~ 255541 の全データ範囲で表示されています。

表示波形を 28 時間後から 8 時間のデータ抽出する場合は、右下図の赤枠部分の様に設定します。

入力終了後に【波形範囲】ボタンをクリックすると表示波形画面に切り替わります。

時間表示幅のデータ選択は 8 時間に設定されラジオボタンが選択されます。

表示波形は 28:00:00 ~ 36:00:00 とマウスを操作せずに表示時間の範囲を設定できます。

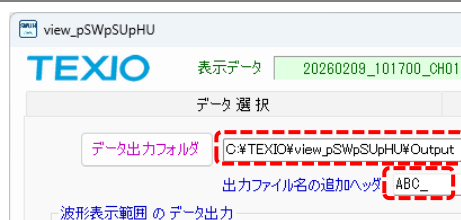


4-7 ファイル出力：波形表示データの csv ファイル出力

波形表示範囲のデータと読み込データ範囲の 2 種類の csv ファイル出力方法があります。

データ出力フォルダを設定します。

出力ファイル名の追加ヘッダは、選択ファイルの先頭に追加したファイル名になります。仮に ABC_ と設定します。



『波形表示範囲のデータ出力』は、波形表示画面で表示されているメモリ範囲が対象です。抽出間隔を設定します。



『読み込データ範囲のデータ出力』は、読み込まれているデータからメモリ番号または日時で抽出範囲を設定できます。日時の入力形式は、『設定時間単位』で 3 種類から選択します。



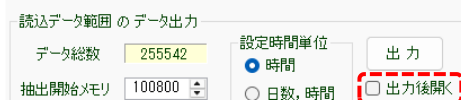
開始メモリ、抽出数、抽出間隔を設定します。



『出力後開く』が ☒ 状態の時、ファイル作成後に Windows に設定してある規定アプリで開きます。

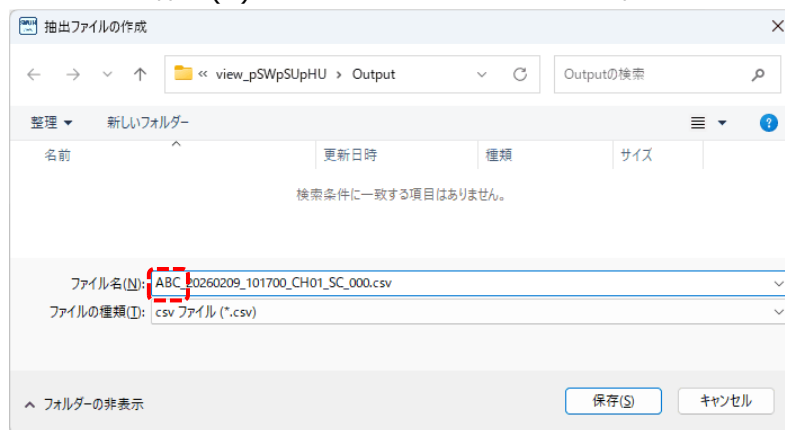


【出力】ボタンをクリックして抽出ファイル作成のダイアログ Box を開きます。



ファイル名の初期値は、追加ヘッダの後に先頭ファイル No になります。

保存先やファイル名を確認して【保存(S)】ボタンをクリックして抽出ファイルを作成します。



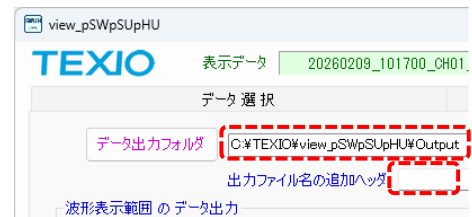
4-8 ファイル出力：ファイル範囲の csv ファイル出力

データファイルを 1,000,000 ポイント毎のファイルに変換できます。

データ出力フォルダを設定します。

『出力ファイル名の追加ヘッダ』は、空欄にするとデータ選択画面から再選択できる様になります。

ヘッダを追加すると出力ファイルの識別が容易になります。

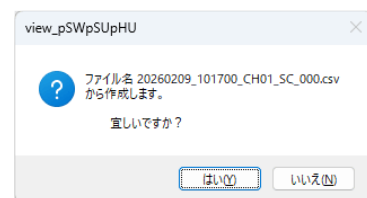


抽出ファイルの範囲、データの最大抽出数と抽出間隔を設定して【出力】ボタンをクリックします。

抽出ファイルを全範囲、数量指定無しを✓状態、抽出間隔が 1 の場合、1,000,000 データ毎にファイルが作成されるので pSWpSUpHU_cont アプリの 1/10 のファイル数に変換できます。

作成する先頭ファイル名の継続処理の確認ダイアログ Box が表示されます。

追加ヘッダの設定やファイル範囲の先頭が 0 以外の場合、データ選択画面から再選択できないメッセージになります。



4-9 ファイル出力で作成した csv ファイルの読み込み

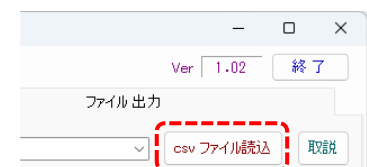
任意の csv ファイル名で作成した出力ファイルは、データ選択画面から読み込む事はできません。

本アプリでは任意の csv ファイルを 2 種類の方法で読み込む事ができます。

※単一の csv ファイル処理の為、ファイル出力画面の「ファイル範囲のデータ出力」機能は無効になります

1) ファイル出力画面

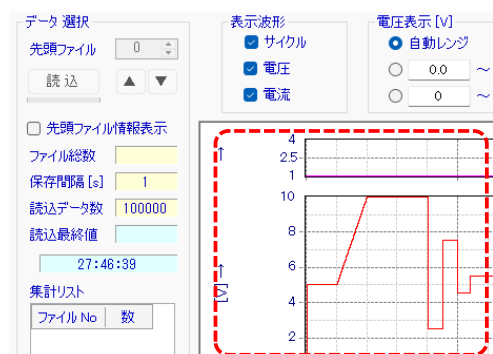
【csv ファイル読込】ボタンをクリックしてファイル読み込みのダイアログ Box で csv ファイルを選択します。



2) 波形表示画面

波形の表示エリアに csv ファイルをドロップするとファイルを読み込みます。

単一ファイル処理なので先頭ファイル選択等のファイル選択機能は無効になります。



csv データファイルのヘッダ部が pSWpSUpHU_cont の書式できない場合、右図の様に『csv ファイル違い』になり処理を中断します。



4-10 任意間隔の csv データ表示

pSWpSUpHU_cont アプリのシーケンスプログラムでは任意間隔で csv データの保存指定ができます。

任意間隔で保存された csv データは保存間隔が 0 で設定されています。

以下が任意間隔で保存された波形表示画面とファイル出力画面での違いになります。

波形表示画面

保存間隔[s] の値が 0 が任意間隔データになります。

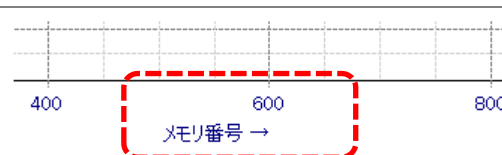
波形表示画面

時間表示幅[h:m]が メモリ幅 になります。

メモリ幅では、最終データの機能が無効になります。

波形表示画面

横軸がメモリ番号になります。



ファイル出力画面

『読み込データ範囲 の データ出力』は、設定時間単位の機能は無効になりメモリ番号のみの指定になります。

ファイル出力画面

任意間隔で保存されたデータは、『波形表示範囲 の データ』表の経過時間で確認できます。

右図の例では、メモリ番号が 60 までが 1 秒間隔、61 から 2 分間隔で保存されている事が分かります。

波形表示範囲 の データ

メモリ番号	経過時間	サイクル	パターン
57	0:57:00	1	1
58	0:58:00	1	1
59	0:59:00	1	1
60	1:00:00	1	1
61	1:02:00	1	2
62	1:04:00	1	2
63	1:06:00	1	2

第5章 ファイル出力の csv データとフォルダ構成

本章では、出力される csv ファイルの保存フォルダとアプリケーションのフォルダ構成の説明になります。

5-1 ファイル出力の csv データファイルの書式

本アプリで出力する csv データファイルは pSWpSUpHU_cont と同じ書式です。

大きな違いは最大データ数を 1,000,000 ポイントと 10 倍のデータ数で保存する事です。

csv データの書式は同じ構成なので本アプリケーションで出力した csv ファイルの再読み込みが可能です。

書式の詳細は、pSWpSUpHU_cont アプリケーションの取扱説明書を参照して下さい。

5-2 ファイル出力の csv データのファイル名

波形表示のデータ出力はファイル数が 1 個なので任意の名前で保存できますが、ファイル範囲では複数のファイルになる場合があるので選択したファイル名の先頭に任意の文字列を追加した下表の書式になります。

ファイル名 ①②_③_CH④_⑤.csv

①	任意	10 文字	出力ファイル名の追加ヘッダの文字列
②	日付	8 桁の数値	年 4 桁、月 2 桁、日 2 桁
③	時間	6 桁の数値	時 2 桁、分 2 桁、秒 2 桁（時間は 0～23 の値になります）
④	番号	2 桁の数値	チャンネル番号
⑤	識別	MC	手動操作
		SC	シーケンス
⑤	回数	3 桁の数値	データの連番（初回は 0 です）

5-3 アプリケーションのフォルダ構成

インストーラの既定値でインストールを行いアプリ起動して終了すると下記の様なファイル構成になります。

C:\¥TEXIO¥view_pSWpSUpHU	インストールフォルダ
view_pSWpSUpHU.exe	本アプリの実行ファイル
view_pSWpSUpHU.stg	本アプリ終了時の設定状態
view_pSWpSUpHU.exe.config	アプリケーション構成ファイル
System.Net.Http.dll	本アプリ用 追加.NET ライブラリ
Microsoft.WindowsAPICodePack.dll	本アプリ用 追加.NET ライブラリ
Microsoft.WindowsAPICodePack.Shell.dll	本アプリ用 追加.NET ライブラリ
Ver-view_pSWpSUpHU.txt	本アプリの更新履歴
取扱説明書-view_pSWpSUpHU_V101.pdf	本書
Output	出力フォルダの初期保存フォルダ

第6章 付 録

6-1 改定履歴

取説 Ver	日 付	更新内容
0544-11	2026/08/20	アプリの不具合修正でシステム画面の更新 1.02 ・トレンド記録の波形の時間軸の拡大・移動処理の不具合修正 ・時間軸の移動の終了時間を(最終時間－表示幅)に変更 マウスの移動処理の説明を修正
0544-01	2026/02/27	初版



株式会社 テクシオ・テクノロジー

<https://www.texio.co.jp/>

アフターサービスに関しては下記サービスセンターへ

サービスセンター 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-18-13 藤和不動産新横浜ビル 7F
TEL.045-620-2786